

一般質問通告表

令和6年第4回始良市議会定例会（12月3日）

10. 峯下 洋	1. 防災対策について 2. 今回の衆議院総選挙の始良市の投票状況について	(1) 本年元旦に発生した能登半島地震を教訓に本市に起きた場合を想定し、また線状降水帯の発生等を考えた時、我々にできる事は無いかの思いから、11月10日(日)守るフェスタ「(HUGゲーム)地震を想定」に参加した。 初めて体験して、これは校区コミュニティ・自治会での訓練や小・中学校、高校等での授業に取り入れる必要があると感じた。そこで以下を問う。 ①これまで、HUGゲームについて、市民への広報はどのように行っているのか。 ②自治会等でHUGゲームを取り入れた訓練を行う場合、市やジュニア・リーダーどんぐりの皆さんの派遣などの協力を得ることができるのか。 (2) 地震等の被害により自宅の半壊・全壊などで長期の避難生活を強いられることになる市民に対しての対応はどのように計画されているのか問う。また、避難施設整備において、施設をプレハブで作る場合と移動式コンテナハウスを使用する場合とを比較すればスピード感が全く違うと考えるが、避難施設として活用できる移動式コンテナハウスの設置は考えていないか問う。 今回の衆議院総選挙は話題の多い選挙であり、もっと多くの国民が投票に行ってくれるものと期待していたが残念な結果であった。そこで以下を問う。 (1) 7月に行われた県知事選挙から実施された移動式期日前投票所の状況はどうだったか問う。	市長 教育長 市長 選挙管理委員会委員長
-----------------	---	--	--

		(2) 期日前投票率について全体と校区別または旧町単位での数値を示せ。	
11. 桃木野幸一	1. 小山田保育所の整備等について	小山田保育所は昭和41年2月に建設され、58年経過しており、公立としては1箇所の保育所である。 部分的な改修は見られたが雨漏りなどしており、老朽化していることを実感した。また、これまで移転の話などもあったように聞くんが、詳細は不明である。 そこで、以下の点を問う。 (1) 過去5年間の応募数と園児数及び校区内の園児数を示せ。 (2) 職員体制について示せ。 (3) 過去5年間の待機児童数を示せ。 (4) 隣接の網掛川が大雨時などに氾濫し、避難しているという事であるが、年間の避難回数やどのような体制で避難しているのか。また、職員や園児の受け止めはどのようなものか。 (5) 広場に大木があり、2本は伐採されていたが、根は地上10cm程残っている状況である。今後は腐る事が予想されるが、処置はどうなるのか。 (6) プールも劣化しておりシャワーなども排水状態が悪く使えない状況である。今後の対応を示せ。 (7) 3歳・4歳・5歳児は、間仕切りの無い部屋で、分かれてはいるが声が入り交じり、騒がしさを感じた。このような保育環境をどのように考えているか。 (8) 始良市公共施設個別施設計画では、2030年までは、計画事業内容として「日常点検・機能維持のための修繕」とあり、方針については「集約化」とあるが集約化とはどのような意味か。 (9) 小山田保育所は、土砂災害警戒区	市長

		域での立地であり、隣接の網掛川が氾濫するたびに、陶夢ランド等へ避難する状況であることから、園児や職員等の安全・安心を考えると早急な移設を含めた環境改善が必要であり、去る10月に議会としても意見書で要望をしているところであるが、現在の考えを示せ。	
	2. 住吉池の整備について	住吉池の周囲の歩道の一部が法面の崩壊や倒木等で先に進めない状況である。 そこで、以下の点を問う。 (1) 法面が崩れたのはいつの事か示せ。 (2) 住吉池について要望等は何か寄せられていないか。 (3) 県立公園に指定されていると理解しているが、指定になった経緯を示せ。 (4) 周囲の歩道が崩れ、歩行困難となっている事や、隣接する民地は斜面となっており、危険であると考え。このことについて県との協議はしていないか。 (5) バンガローの利用状況を示せ。	市 長
	3. 公民館の祝日利用について	始良公民館などは、条例により祝日は利用ができないこととなっている。 そこで、以下について問う。 (1) なぜ、そのように規定しているのか問う。 (2) 条例を改正して祝日も利用できるようにすべきと思うが、考えを示せ。	市 長 教育長
	4. 児童の登校時間について	市民の方々も共働きが増えて、朝早くに仕事にでかけている方も多いと思われる。そうすると、小学校低学年の児童は、自分でカギをして学校に行くこととなるが、親に合わせて家を出て早く学校に行っても校門が解錠していなければ中に入れない状況となる。 そこで、県外の学校では児童クラブが	市 長 教育長

		朝子どもを預かっている例や校庭をシルバー人材センターに委託している例、また、安全管理員と呼ばれるボランティアが校門の解錠を行い、子ども達の安全を見守っている例などがある。 地域の大人たちの支援があることで、子ども達は安心して登校し、学習への意欲も高まったとの事である。また、親も安心し、なにより地域と学校が信頼関係を築くことで、子ども達の成長がより促されるのではと期待されている。 そこで、下記について問う。 (1) 児童の登校時間は決められているか。 (2) 低学年の児童が朝カギを掛けて学校に行っている状況を学校として把握しているか。 (3) 調査をして必要であれば、上記の例などのような対応が必要であると思うが、考えを示せ。	
	5. 職員駐車場について	職員は、駐車場がないために民地を借りたり、西ノ妻の土地開発公社所有地に駐車して徒歩で市役所まで通勤していると聞く。 今年の夏は、猛暑となり、職場に着くまで大変な状況だったのでないかと思われる。 そこで、現在の職員の駐車場についてどのように考えているか示せ。	市 長
12. 益森 隆史	1. 加治木中心拠点地区整備方針について	加治木駅周辺のまちづくりにおいて、計画を策定し都市構造再編集中支援事業に採択され、現在も継続事業として市のまちづくりをすすめている。 今年度よりちるどんが開館し、加治木庁舎も開庁した。 そこでまだ継続中の事業ではあるが、	市 長

		以下について問う。 (1) 現在進行形の事業も含めて今後の計画を示せ。 (2) 市民の安全・安心を守り、賑わいと世代交流の再生を図るまちづくりという大目標を掲げたうえで、3つの目標を設定しているが進捗状況を問う。 (3) 子ども館ちるどんが開館し半年以上が経過している。現状の来館者数(全体、市内、市外)とリピート率、子育て相談件数を示せ。 (4) かもだ通り商店街との連携はどのようなになっているか問う。 (5) ちるどんの利用者からはどのような声があるのか。 (6) まわりの商店街ならびに民間事業者からはどのような声があがっているか。 (7) 今後ちるどんの運営について、具体的な施策や計画があれば示せ。	
	2. 小学校区について	2020年に発表された総務省出典のデータによると2025年には本市の人口が73,716人まで減少すると予測されていたが、現在は予測を大きく外れ人口増となっている。 子育てなら始良、住むなら始良を掲げる本市にとって、とてもありがたいことである。 しかし、昨年度は重富中学校のプレハブを新築する補正予算が提出され、一昨年度は重富小学校のプレハブを新築する補正予算が提出された。一方で隣接する校区の西始良小学校では児童数が減少している状況である。そこで以下について問う。 (1) 来年度増減が予測される小学校の児童数を示せ。 (2) 自治会や校区コミュニティ協議会	教育長 市長

		と、学校校区についての協議をしているのか、していれば協議内容を示せ。 (3) 新規住宅建設の状況は、どの地域にどのくらいの予定があるのか、今後の予測もあわせて問う。 (4) 児童が予測を超えて教室が足りなくなる小中学校があった場合、どのように対応するつもりか。	
13. 有川 洋美	1. 介護離職対策と介護休業について	少子高齢化にともなって、介護の必要な方々、介護をする方々のバランスが崩れてきている。 育児と同時に介護を担う方々、子どもの育児の手伝いと同時に親の介護を担う方々、親の介護のために都市部から始良市に帰ってきた方々、親の介護のために仕事を辞める方々等増えてきているのではないかと考える。 介護離職対策の一つとして「介護休業」という国の制度がある。 介護離職と介護休業取得の現状と、介護離職に対する対策を問う。	市 長
	2. 小中学校備品購入等への物価高騰対策	昨今の物価高騰は目に余るものがある。小中学校備品購入等へも物価高騰に配慮した予算を組むべきではないか。考えを問う。	市 長 教育長
	3. 教員の教科書指導書不足対策	令和6年第2回定例会一般質問にて、教員の教科書・指導書について質問を行った。子どもたちの教育の機会を守り、教育の質を保つためにも重要なことであると考ええる。 中学校においては令和7年度に向けての教科書・指導書の数量の積算を行ったと思うが、令和7年度の新学期が始まって、小中学校において指導書の不足が生じた場合の対策を問う。	市 長 教育長

14. 堀 広子	1. 子育て支援について	(1) 子ども医療費助成制度は、2025年度から中学校卒業まで無料とし、病院窓口でも無料となる。子育て支援策の一環として、高校生まで無料化を拡充すべきではないか。 (2) 子どもの健全な成長にとって大切な学校給食を無償化している自治体が全国で広がっている。県内43市町村の内、22市町村が実施している。 先に行われた総裁選挙でも大きな争点となっている。国の制度実施を待つことなく市独自の支援策として実施すべきではないか。	市長 教育長
	2. 農業振興策について	(1) 鹿児島県の基幹的農業従事者は2000年の8万2280人から、2020年の20年間で3万7580人へと激減しているとの報告がある。始良市のこの間の基幹的農業従事者の推移はどうか。 (2) 農家の高齢化が進み、圃場整備がされていない田んぼなどでは、耕作放棄が広がっている。 始良市の耕作放棄地（過去5年間）の状況はどうか。 (3) 2023年4月から農地法第3条が改正されている。 ①その内容と始良市の実績を示せ。 ②同制度の内容を市民へ周知し、農業に意欲のある方の農地取得に活かすべきではないか。 (4) 耕作放棄地抑制策として農業に意欲のある方へ農機具の貸出制度を導入する考えはないか。	市長 農業委員会 会長